

高岡工場の全自動高速遠心分離機が **新しく** なりました

- ✓ 従来の 3000G から **5000G** に高速化
- ✓ スラッジの **乾燥機能** を装備
- ✓ 制御盤下に **ケーブルカバー** を設置
- ✓ 本体フレームの奥行きを約 **150mm 小型化**

全自動高速遠心分離機の構造と運転工程①→⑦

② 桶

水中ポンプで送られてきた処理水は桶の中の吹き出し口からローター天板に噴き上げられます。この際桶は閉まって（上がって）います。



① 処理液供給口

水中ポンプで処理液を吸い上げて桶に送ります。

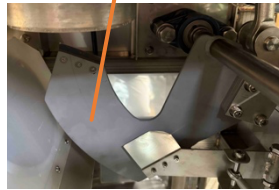
⑦ クリーン液排出口

ローター内での遠心分離によって分離されたクリーン液はここから排出されます。排出後の配管によって再びローター内に液を送ることもできます（循環）。



⑥ スラッジ受け

スクレーパーによって掻き出されたスラッジは遠心分離機本体下に設置したスラッジ受けに落下します。ここまでの工程は自動運転ですので人手が必要なのはこのスラッジ受けの交換だけです。



⑤ スクレーパー（スラッジ掻き出し）

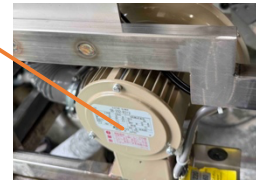
遠心分離・乾燥後に桶を開けて（下げて）ローターを低速回転させながら独自形状のスクレーパーをローター内に挿入しローター内壁に張り付いたスラッジを掻き落とします。

③ ローター（遠心分離する釜） **NEW**

噴き上げられた処理水はローター内で遠心分離によって固体（スラッジ）と液体（クリーン液）に分離します。絶えず処理水を供給することでモーターへの負荷を低減し省エネでの高速回転を実現しています。5000G に高速化したことでこれまで取れなかった細かい粒子も分離可能です。



ケーブルカバー NEW
制御盤下に設置したカバーが配線をスッキリ保護します。



④ 乾燥機（ブロワー） **NEW**

遠心分離後に、ローターを回転させながらローター内に溜まったスラッジに乾燥空気を噴射してスラッジの水分率を 10%程度低減できます。（※下表参照）乾燥時間も設定可能です。

※表 乾燥による水分率低減効果

試料名	水系スラッジ	
	ブロウ噴射	なし
含水率 [%]	44.2%	34.1%
低減率 [%]	10.1%	

TAKA OKA

株式会社 高岡工場